

「援助する側」という意識から抜け出そう

東日本大震災から一年がたちます。震災後、日本は開発途上国を含む世界各国から多大な支援を受け、「援助する側」というだけでなく、「援助される側」になりました。また、青年海外協力隊 O B ・ O G など国際協力にかかわったことがある多くの人材が、震災後の被災地支援に参画しました。国際協力の知見・経験は、日本国内の復興にも大いに役立っています。

また昨年、海外では、タイをはじめ世界中で大雨や大洪水が頻発し、東アフリカでは大干ばつが発生しました。このように各地で大規模な自然災害が相次いで起こり、多くの被災者が出ています。

JICA はこれらの災害に対し、物資の供与など緊急の対応から、中・長期的視点に基づく生活・社会のインフラ整備などに取り組んでいます。防災に関する協力は、今や日本と海外を分けて考えるものではなく、共通の課題となっています。その意味で日本は今後も一層、防災に関する知見・経験を蓄積し、国内の復興と途上国への支援に生かしていくことになるでしょう。

また、日本、米国、欧州など先進国の経済が低迷する一方、中国やインドなどの新興国の経済成長が著しく、世界経済に大きな影響を与えるようになってきています。従来の援助する側と援助される側という関係だけでなく、途上国も「援助を受けながら他国を援助する」という時代になり、援助の構図は大きく変わってきています。

私たちも、従来の「援助する側」という意識から抜け出し、開発途上国と Win-win の関係でお互いに発展できるような協力に取り組んでいきます。

広報室参事役 小川正純

本誌へのご意見・ご感想や JICA へのご質問をお寄せください。

プレゼント付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、また JICA へのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2012年4月15日

Email: [jica@idj.co.jp](mailto:jica@idj.co.jp)  
FAX: 03-3582-5745 (『JICA's World』編集部宛)

- ① バングラデシュの布製品
- ② 書籍『世界は広くてせまくて、やっぱり広い お笑い海外武者修行記』(p37参照)
- ③ 書籍『タイに渡った鑑識捜査官 妻がくれた第二の人生』(p37参照)



①



③



②

本誌をご希望の場合は下記方法でお申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金の確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)  
住所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル  
TEL 03-3584-2191  
FAX 03-3582-5745  
Email [order@idj.co.jp](mailto:order@idj.co.jp)



次号予告 (2012年4月1日発行予定)

大洋州と東ティモール

楽園のイメージが強い一方で島国特有の課題を抱えている大洋州、独立10周年を迎えた東ティモールに対する日本の支援を特集します。

訂正とお詫び：2012年1月号33ページ「地球ギャラリー」に誤りがありました。「e」「f」の写真はフエではなく、ハノイの街並みでした。ここに訂正し、お詫び申し上げます。



March 2012 No.42  
編集・発行 / 独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル  
TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>  
バックナンバーは JICA ホームページ (<http://www.jica.go.jp/publication/j-world/>) でご覧いただけます。  
本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。